

科目名	担当者名	配当	期	単位
刑事証拠法	松本英俊	2・3選必	前期	2

■講義内容■

本講義は、刑事訴訟法の基礎的な理解・基本知識の習得を前提に、証拠法の重要な問題について検討する。

■シラバス■

<科目のねらい>

証拠法の基本原則の理解を確認し、証拠の関連性、違法収集証拠の排除法則、伝聞法則、自白法則を巡る問題を中心に、具体的問題を検討することにより、証拠法の基礎力の養成および問題の解決方法を身につけることを目的とする。講義においては、主要判例を素材とした問題を検討し、問答方式による双方向的な対話・討論型の授業を行う。各回の講義計画は以下の通りである。

<科目の内容>

第1回 証拠法概説

証拠法の基礎知識の確認を中心に、基本的問題の検討を行う。

第2回・第3回 証拠法の基本原則

証拠法の基本原則に関する問題について、具体的な事例問題を多面的・多角的に検討し、問題の解決を図る。

第4回・第5回 挙証責任と証明

挙証責任や証明の方法などに関する問題について、具体的な事例問題を多面的・多角的に検討し、問題の解決を図る。

第6回・第7回 証拠の関連性

証拠の関連性に関する問題について、具体的な事例問題を多面的・多角的に検討し、問題の解決を図る。

第8回 科学的証拠

科学的証拠に関する問題について、具体的な事例問題を多面的・多角的に検討し、問題の解決を図る。

第9回・第10回 伝聞証拠

伝聞証拠に関する問題について、具体的な事例問題を多面的・多角的に検討し、問題の解決を図る。

第11回・第12回 自白の任意性

自白の任意性に関する問題について、具体的な事例問題を多面的・多角的に検討し、問題の解決を図る。

第13回・第14回 排除法則

違法収集証拠の排除に関する問題について、具体的な事例問題を多面的・多角的に検討し、問題の解決を図る。

第15回 定期試験

<教科書>

未定

<参考書>

高野隆『ケースブック刑事証拠法』（現代人文社、2008）